

報道関係各位

件 名 精明東部地区の新たな農業展開について

1 概要

本市は、精明東部地区の農地を有効活用し、収益性の高い事業展開、付加価値の高い農作物の生産及び農作物のブランド化の推進が期待できる農業事業者の誘致を進めてまいりました。

このたび大字芦荻場地内において、次の事業者による新たな農業展開がされることになりました。

2 内容

(1) 事業者

- | | |
|---------|-----------------------------|
| ① 事業主 | 株式会社大平きのこ研究所
代表取締役 大平 洋一 |
| ② 本社所在地 | 新潟県南魚沼市余川876-1 |
| ③ 事業内容 | きのこの栽培・加工生産、販売及び技術開発 |
| ④ 設立 | 平成27年6月 |
| ⑤ 資本金 | 1,200万円 |
| ⑥ 従業員 | 11人 |

(2) 株式会社大平きのこ研究所と黒舞茸（くろまいたけ）について

大平きのこ研究所は、雪国まいたけの創業家が設立した会社で、現在は、黒舞茸を栽培・生産して国内の百貨店や高級スーパーに納入しており、年間1億円を超える販売実績を有しています。

また、同社取締役会長の大平善信氏は、カナダに工場を建設して北米に進出するなど、世界から注目されています。



企業理念【大平きのこ研究所】

- きのこ事業を通して世界のお客様の食と健康に貢献する。
- 日本農業の発展と地域経済への貢献を目指す。
- 従業員の心の豊かさを育む企業を目指す。



☞ 黒舞茸について

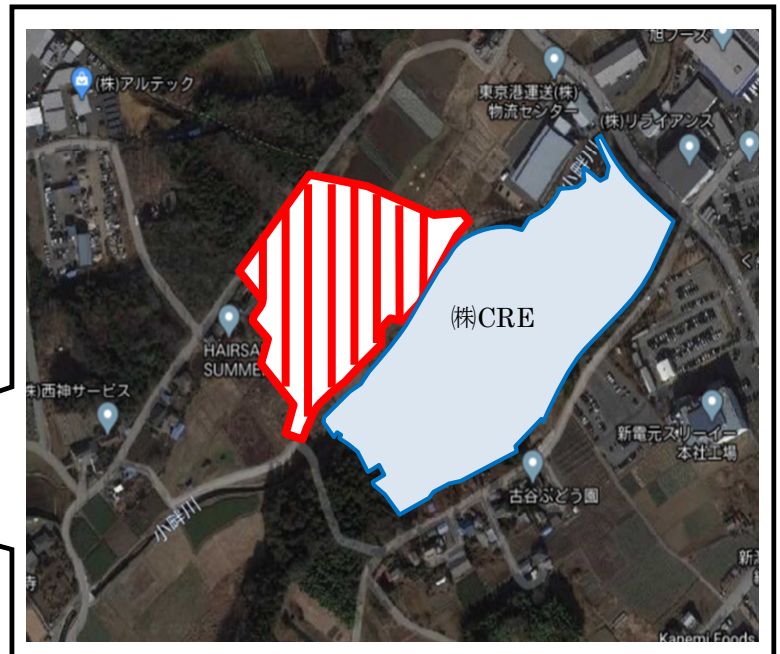
普通の舞茸と比べて味が濃く、歯切れが良いこと、また、薬効が高いことが特徴です。

※ 一般の舞茸と比較した場合、旨味成分は1.3倍、ビタミンDは3倍も多い。

(3) 新工場の建設及び操業開始後の展開について

① 大平きのご研究所が本市に新たに建設する工場の場所等については、次のとおりです。

- ・場 所 飯能市大字芦荻場330番ほか
- ・事業内容 黒舞茸の栽培・生産及び出荷
- ・事業用途 工場（植物工場）
- ・敷地面積 22,758.27 m²
- ・建築面積 8,057.58 m²（4階建）
- ・工事着工 令和2年6月（予定）
- ・操業開始 令和3年夏（予定）



② 新工場が建設され、操業が開始された後には次のような展開が図られます。

【世界へ向けて】

- 新工場は、世界展開の模範工場となり、本市は、黒舞茸の栽培・生産の一大拠点となる。
- 国内のみならず、世界から大きく注目される。
- 今後、大平きのご研究所は、本社を本市に移転する方針がある。

- 本市は、大平きのこ研究所と協力・連携することにより、「飯能から世界へ」に向けた新たな戦略を展開することが可能となる。

【雇用の創出】

- 市民の新たな雇用が創出される。
※ 操業3年後までには、約80人の新規雇用を予定

【市内経済・地域へ貢献】

- 黒舞茸の高い商品力、事業者の高い販売力により、安定した売上げと利益を生み出す事業が行われる。
- 継続的な税収の確保等、市内経済・地域への貢献につながる。

【地域農産物事業者等との連携（地域農産物の販路開拓）】

- 黒舞茸の販売ルートを活用し、本市の地域農産物の新たな販路開拓につなげる。



今後、工場が建設され、操業開始となった後は、黒舞茸を本市の新たな農産物ブランドの一つとしてその価値を高めていくとともに、本市の魅力を更に力強く内外に発信してまいります。

担当者	農業振興課長 木崎 晃典
連絡先	Tel.042-973-2122（直通）
担当者	産業振興課長 金子 智彦
連絡先	Tel.042-986-5083（直通）